



# ship in a bottle



## 美術部 伊東 敏夫

模型づくりの中でも難易度が高く

「キングオブホビー」とも呼ばれる帆船模型。

キングの定義は『誰でもすぐ始められて奥が深い』ことで、「帆船模型」「鉄道模型」「アマチュア無線」等があるらしい。

私は、帆船模型でもボトルに詰める「ボトルシップ」です。

帆船に限らず模型とデザインは様々な興味がある物体を、  
ボトルに入れる「不可能ボトル」も趣味の1つ。



ボトルや制作に必要な工具は、自分で用意することからはじまる。

対象の物体をボトルに詰めるための工具づくりも、趣味の範囲内であり、  
熟慮の上、制作する。

作業はまず各パーツを作り、それらをボトル内で組み立てて完成となる。

狭いボトルの入り口で行う組み立て作業には、手先の器用さが求められるが、手作り工具やピンセット等を使いながら手際よく船体やマストを取り付けていく。

地元の青葉ボトルシップ愛好会でボトルシップを始めて10年、かなりの多くの作品を製作してきました。

このところのコロナ渦で、作品の展示会などがなくなり、  
製作意欲もなくなっています。

しかし毎年夏休みに『小学生ボトルシップ教室』を開催しており、  
この小学生たちが将来、ボトルシップの楽しさを受け継いでいって  
くれればと思っています。

この写真は4月に出来上がった小さな香水瓶の中に、機関車を作った  
作品で、通院している歯医者さんの受付に飾ってもらっています。

